

## 事故の型別に応じた車両系荷役運搬機械等による死亡災害事例 (平成24年発生分)

### ■ フォークリフト

#### 01. 墜落・転落

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
1	大阪	5	金属製品製造業	工場内の水銀灯交換のため、フォークリフトにパレット13枚を重ねて、その上に被災者が乗ってマストを上げ、電球の交換作業をしていたところ、被災者がパレットから、6.15m転落した。
2	奈良	7	道路貨物運送業	トラックより荷を降ろすため、プラットホームよりフォークリフトをトラック荷台に進入させたところ、フォークリフト前輪が荷台に乗った際にトラックが前方に動き出したためフォークリフトがバランスをくずし墜落し、その際に飛び降りた運転手が墜落してきたフォークリフトの下敷きとなった。
3	兵庫	10	水産業	のり採苗場において、被災者は同僚が運転するフォークリフトのフォークに乗り、場内に張っている高さ3~4mの日よけ網を直そうとしていた際、1.7mのフォーク上から体勢を崩し頭からコンクリート床に墜落した。
4	愛媛	12	卸売業	鉄骨造の倉庫を解体する作業現場で、フォークリフトの爪にパレットを差し込み、パレットの上に乗って、地上高さ2.8mで作業を行っていた作業者がバランスを崩し、フォークリフトのマストとパレットの隙間から地面に転落した。
5	岐阜	6	その他の商業	被災者がピッキングフォークリフトを用いて入荷した製品(反物、14kg程度)の棚入れ作業に従事していたところ、高さ1.8mの位置から製品とともに墜落した。
6	茨城	4	清掃・と畜業	自動車解体業の事業場敷地内で、4tトラックに古タイヤを積み込む作業を行っていた。解体した軽トラックの荷台をパレットの代わりとしてタイヤを積みフォークリフトにより持ち上げ、トラックの荷台に寄せた。被災者は軽トラックの荷台上でタイヤを4tトラックへ移し替えていたところ、軽トラックの荷台が転倒して、荷台とともに地面に墜落した。

### ■ フォークリフト

#### 02. 転倒

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
7	兵庫	7	パルプ・紙・紙加工品製造業	結束機で束ねられたパルプ製品(約1t)を結束機の横に仮置きしようと、フォークリフト(2.5t)のクランプではさんだ製品を地上から約2.3mの高さに上げたまま、後方に積まれた別の製品をかわすため、バックしながらS字のように右から左にハンドルを切ったところ、急旋回動作となり、車体が転倒し、ヘッドガードと床面の間に腰部を挟まれた。

■ フォークリフト

02. 転倒

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
8	愛知	3	非鉄金属製造業	鑄造工場2階より鑄造屑を搬出するためフォークリフトでスロープをバック走行していたところ、ガードレールに激突し、フォークリフトと共に転倒し、ヘッドガードの下敷きとなった。
9	茨城	11	電気機械器具製造業	被災者がフォークリフト運転中、運行経路上に置かれていたローディングランプ(コンテナ車に直接フォークリフトで荷受けするためのスロープ付き架台)のスロープに左前輪部を乗り上げてしまい右方向に横転、被災者は運転席から投げ出され、ヘッドガードと地面との間に挟まれた。
10	広島	7	輸送用機械等製造業	被災者は、フォークリフトに取り付けられた作業台上で船体の外板塗装作業を行っていたが、フォークリフトがバランスを崩して横転、その衝撃で被災者も作業台から投げ出され地面に体を強く打った。
11	鹿児島	3	その他の製造業	被災者がフォークリフト(最大荷重2.2t)を運転し圧縮した再生固形燃料(縦1.05m、横1.05m、長さ.05m、重量590kg)を専用のアタッチメントで挟み高さ約3.4mに持ち上げ後進したところ、フォークリフトが転倒し運転席天蓋のフレームで胸部をはさまれた。
12	福井	1	その他の建設業	フォークリフトを使用して事業場の広場の除雪を行っていた(除雪した雪は、駐車場と道路の間にある用水路に捨てていた)ところ、右前輪が傾き運転席から放り出され、その上にフォークリフトが倒れてきて、頭部がフォークリフトの下敷きとなった。
13	岐阜	11	道路貨物運送業	トラック荷台から精米用の米の入った重量約1tのフレキシブルコンテナ(以下、フレコン)をフォークリフトで吊り4段積みされているパレット上に載せたところ、フレコンが建物にもたれかかるように傾き、これを直そうとフレコン吊り具にロープを通しフォークリフトの左フォークに掛け、上げたところフォークリフトが左側に転倒し、作業を補助していたトラック運転者が下敷きになった。
14	岐阜	7	清掃・と畜業	圧縮した廃棄物(一辺が110cm程度の立方体、重量約1t。以下「ブロック」とする。)の積み込み作業中、クランプリフト(最大荷重2t)で挟んだブロックを高さ約3mまで揚げた状態でクランプリフトを右回転したところ、クランプリフトが横転し、クランプリフトのヘッドガードと地面の間に体が挟まれた。(クランプリフト:フォークリフトのフォークをクランプに換装したもので、積荷を挟んで荷役を行う。)

■ フォークリフト

04. 飛来・落下

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
15	岐阜	12	食料品製造業	壁面の前に置いてあった野菜を茹でる機械をフォークリフトで持ち上げ、その下で作業を行っていた際に当該機械が突然落下し、被災者に激突した。

■ フォークリフト

04. 飛来・落下

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
16	山口	2	建築工事業	2tトラックに積まれていた木材1本(土地丸太、長さ12m、胸高直径35cm)をフォークリフトで降ろす作業中、フォークリフトで木材を地上から約2mの位置に持ち上げた状態で、フォークリフトの運転者が運転位置から離れていたところ、その木材(丸太)が転がり落ち、近くにいた労働者に当たった。
17	兵庫	1	清掃・と畜業	フォークリフトを運転中に、回転式アタッチメントを使って縦1m、横4mの鉄製の籠を縦向きにしていたが、爪から外れ落下、周辺で分別作業をしていた被災者に激突、被災者が下敷きとなった。

■ フォークリフト

05. 崩壊・倒壊

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
18	熊本	9	卸売業	パーテクルボード(1枚約18kg、50枚梱包)をフォークリフトにてトラックから降ろす作業をしていたところ、ボードを留めていたバンドが外れ、崩れたボードが対面にいた被災者に当たった。
19	岡山	9	その他の商業	りん木1本の上に置かれたコンクリート製の衝立(高さ2m、幅2m、重量1.9t)をフォークリフトを運転して移動させようとしたところ、その衝立が近くにいた被災者の上に倒れ、下敷きとなった。

■ フォークリフト

06. 激突され

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
20	埼玉	11	鉄鋼業	工場の敷地内において、夜勤を終え帰宅予定であった被災者が、同敷地内を通勤用の原動機付き自転車で走行中、ビレットを運搬するため、他の労働者が運転していたフォークリフトの右爪部分が、被災者に激突した。
21	鹿児島	9	清掃・と畜業	生コンを入れるホッパーを運搬中のフォークリフトに轢かれた。

■ フォークリフト

07. 挟まれ・巻き込まれ

No.	都道府県名	発生日	業種	災害の発生概要
22	徳島	8	木材・木製品製造業	同僚がフォークリフトで木材を運搬中、油圧オイルが漏れていたため、被災者と同僚で点検を行っていた。被災者はフォークが下降しないように廃材(4.5cm×5.5cm×94.5cm)でフォークを支え、フォークリフト前方にもぐりこんで点検していたが、廃材が折れたために、降下したフォークに前頭部を挟まれた。
23	栃木	12	金属製品製造業	被災者は、当日の勤務を終え帰宅しようと、事業場構内の通行道を横断中、後方から走行してきたフォークリフトに轢かれた。
24	岩手	5	輸送用機械等製造業	研磨機の投入バケットへ、製品の移し替え作業を行っていたところ、前進してきたフォークリフトに両足を轢かれた。
25	岐阜	10	その他の製造業	被災者がフォークリフトの運転を誤り、後方の柱との間に体が挟まれた。
26	東京	9	道路貨物運送業	倉庫内にて入荷の商品を仮置きする作業中、既に置かれている製品の上にフォークリフトを使用し製品1パレットを荷積みしようとした。その際に、既に置かれている製品の一部の荷ずれに気付き、フォークリフト運転席より身を乗り出して修正しようとしたところ、誤って操作レバーに触れ、フォークリフトのマストとヘッドガードの間に挟まれた。
27	静岡	2	道路貨物運送業	被災者は荷主先において、フォークリフトのヘッドガードの上に乗し、上方からフォークリフトの崩れた荷を直そうとしたところ、マストとヘッドガードの支柱の間に墜落した。その際、両下肢がフォークリフトのテイル操作レバーに当たり、結果的に動くマストとヘッドガードの支柱に押しつぶされる状態となった。
28	愛知	5	道路貨物運送業	1人でフォークリフトを使用し、4トントラックに積んだフレコンの位置の調整をしていた。フォークにフレコンのベルトを通し持ち上げるためトラック荷台に上がり通そうとしたがフォークの位置が高すぎた。そのためトラックの荷台から手を伸ばしフォークリフトのレバーを操作したところフォークが下がりすぎ、フォークとトラックのあおりの間に腹部を挟まれた。
29	東京	8	陸上貨物取扱業	フォークリフトを運転し、フォークリフトのフロントピラーとラックの支柱に頭部を挟まれた。
30	鹿児島	6	港湾運送業	埠頭の岸壁に停泊していた貨物船上での玉外し作業を終了した被災者が、貨物船を降りて、倉庫の横に駐車してあるフォークリフトの方へ埠頭を歩いて移動している途中、後ろから走行してきたフォークリフト(最大荷重22.5t)に轢かれた。
31	愛知	6	卸売業	事業場構内のLPガス充填場において、フォークリフトを使用して配管の塗装作業を行っていた被災者が、フォークリフトのマストとヘッドガードの間に挟まれ意識がない状態で発見された。
32	栃木	2	小売業	敷地内の駐車場に停めた自家用車内で昼休みを過ごした被災者が事務所に戻る途中、同敷地内で作業中であったフォークリフトに轢かれた。フォークリフトは同敷地内の倉庫からトラックへ荷の積み込み作業中だった。

■ 不整地運搬車

01. 墜落・転落

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
33	山形	7	土木工事業	林道専用道を新設する工事において、ドラグショベルで地山を掘削し、不整地運搬車2台で盛土箇所まで残土を運搬する作業を行っていた。被災者は不整地運搬車の運転に従事。もう1台の不整地運搬車とすれ違うため、運行経路の途中にある広い幅員が確保された沢側の待機場所で待機していたところ、10m下の沢に不整地運搬車とともに転落した。

■ 不整地運搬車

02. 転倒

No.	都道府県名	発生月	業種	災害の発生概要
34	島根	1	土木工事業	既存の砂防堰堤の基礎部までを掘り起こす際に発生する残土を運搬するため、運搬路上を不整地運搬車を走行させての試運転中、運搬路上を下る途中、当該機械とともに転倒し、退避しようとした被災者の上に当該機が覆い被さる状態で当たり、当該機のみ運搬路の側方にある排水路まで転落。(被災者は運搬路上に横たわっていた)(災害調査実施時点において、発生場所の運搬路の傾斜角度25度)